

特別勘定マンスリーレポート

スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

ユニット・プライスの推移



※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

参考 主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:クレディ・スイス投信株式会社)

クレディ・スイス世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

■ 基準価額の騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年
クレディ・スイス世界 バランス・ファンド	▲0.05%	▲2.02%	▲0.62%	▲11.18%	13.15%

■ 通貨別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)
米ドル圏	36.82%	37.67%
ユーロ圏	31.14%	31.09%
イギリスポンド	7.51%	8.13%
豪ドル(含NZD)	1.64%	1.84%
スイス・フラン	2.43%	2.00%
日本円	20.46%	19.28%
合計	100.0%	100.0%

* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、シティグループ世界国債インデックスの50%を加重平均した指数

■ 上位10銘柄

(総組入れ銘柄数 362)

株式	国名	業種	投資比率
SCHLUMBERGER LTD	アメリカ	エネルギー	1.46%
MONSANTO CO	アメリカ	素材	1.05%
CVS CAREMARK CORP	アメリカ	生活必需品	0.99%
CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.94%
ABB LTD	スイス	資本財・サービス	0.82%
SIEMENS AG REG	ドイツ	資本財・サービス	0.79%
GROUPE DANONE	フランス	生活必需品	0.69%
MAN AG	ドイツ	資本財・サービス	0.65%
INTERTEK GROUP PLC	イギリス	資本財・サービス	0.65%
CHUBB CORP	アメリカ	金融	0.64%
合計			8.69%

債券	クーポン	償還日	投資比率
ドイツ国債	3.500	2009/10/09	1.70%
ドイツ国債	4.250	2014/07/04	1.69%
イギリス国債	5.000	2025/03/07	1.65%
フランス国債	5.000	2016/10/25	1.26%
フランス国債	3.500	2011/07/12	1.22%
ドイツ国債	4.000	2037/01/04	1.19%
ドイツ国債	5.000	2012/01/04	1.13%
第63回利付国債(5年)	1.200	2012/03/20	1.09%
第260回利付国債(2年)	0.900	2009/09/15	1.04%
フランス国債	3.500	2015/04/25	1.04%
合計			13.01%

特別勘定の名称

グローバルマーケット型

主な運用対象
の投資信託クレディ・スイス世界バランス・ファンド
(適格機関投資家専用)投資信託の
運用会社

クレディ・スイス投信株式会社

ユニット・プライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
-0.15%	-2.29%	-1.20%	-12.16%	8.90%	20.14%

特別勘定資産内訳

	構成比(%)
現預金	0.4%
投資	99.6%
合計	100.0%

■ 資産別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)	ベット
株式	51.89%	50.00%	1.89%
北米地域	25.94%	25.95%	-0.01%
欧州(除く英国)	12.41%	11.19%	1.22%
英国	4.50%	5.26%	-0.76%
日本	5.79%	5.14%	0.65%
香港・シンガポール	1.88%	0.80%	1.08%
豪州・ニュージーランド	1.37%	1.66%	-0.30%
債券	45.99%	50.00%	-4.01%
米ドル圏	9.35%	11.09%	-1.74%
欧州(除く英国)	18.42%	21.89%	-3.48%
英国	3.78%	2.87%	0.91%
日本	14.44%	14.14%	0.29%
現預金	2.13%	0.00%	2.13%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

■ 運用コメント

市場概況

米国では雇用統計をはじめマクロ経済指標は引き続き景気の減速を指し示すものが相次ぎました。住宅金融公社の経営不安が投資家の懸念材料となりましたが、支援策が発表されると市場の警戒感はやや後退しました。後半反発した結果、世界株式相場は月を通すとほぼ横這いとなりました。債券相場は金利引上げ見通しがやや後退したこと、若干の上昇となりました。地域別には英国と欧州の上昇率が相対的に高く、米国と日本はほぼ横這いとなりました。為替市場では米ドルが円や欧州通貨に対して上昇しました。米ドル回復の背景としては、コモディティ市場の反落や金融株の反発、欧州での金利上昇見通しの後退といった要因が考えられます。

運用概況

7月のファンドのパフォーマンスは基準価額ベースで前月末比約-0.05%となりました。グローバル株式の保有はマイナスに寄りましたが、グローバル債券の保有はプラスに寄りました。ドル、ユーロ、ポンドなど主要通貨が対円で上昇したことから、外貨の保有もプラスに寄りました。

運用方針

今年前半の世界経済は予想以上の成長率を遂げましたが、後半には減速が予想されます。大幅な減速となれば景気が失速する可能性が出てきますが、その可能性は低いと見ています。ブラジル、中国、ロシアなどの新興国経済は減速の兆しを見せているものの、内需を中心に力強い成長を続ける見通しです。世界経済が減速することによって、高騰が続けたコモディティ相場が調整局面を迎える可能性が出てきています。原油価格などが落ち着きを見れば世界的なインフレ懸念を緩和することに役立つと見られます。

一方で米国住宅市況の回復にはもう少し時間がかかりそうです。個人消費は引き続き低迷し、輸出や企業の設備投資などが米国経済の牽引役となりそうです。住宅金融公社の救済法案が成立したことから、金融システム不安はやや後退したと見られます。

株式相場は過去の平均と比較して割安となっており、投資妙味の大い水準に置かれていますが、景気見通しが不透明のためもう少しは底値を探る展開が予想されます。ポートフォリオではグローバル株式を小幅オーバーウェイト、債券を小幅アンダーウェイトに維持する方針です。為替については米ドルの戻り傾向がしばらく続く見込みであり、小幅オーバーウェイトとする方針です。

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

※その他、次ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

当資料はアクサ フィナンシャル生命が新変額個人年金保険「スイス年金」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です

ご注意いただきたい事項

▲ 投資リスクについて

この保険の積立期間(運用期間)中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて死亡給付金額、年金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

▲ 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等が受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。

保険会社の業務又は財産の状況の変化により、年金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

▲ 諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して 5% を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して (年率0.75%+運用実績に応じた費用(※)) /365日を毎日控除します。 ※運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が 年率1.5%を超過 した場合のみ、 超過分1%あたり0.1%(上限1.25%) 控除します。
年金管理費	年金支払開始日以後、支払年金額の 1% を年金支払日に控除します。
資産運用関係費	グローバルマーケット型 年率0.714%程度

資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

その他ご留意いただきたい事項

- 当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。
- 新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
- 特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。
- 特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。
- ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

ご検討に際しては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」をご契約前に十分にお読みいただき、投資リスクや負担いただく諸費用等の内容についてご確認・ご了解ください。また「商品ガイドブック」、「ご契約のしおり-約款」、「特別勘定のしおり」等をあわせてご覧のうえ、お申込みいただきますようお願いいたします。詳細につきましては変額保険販売資格を持つ生命保険募集人にご相談ください。

[募集代理店]

 **東京スター銀行** 株式会社 東京スター銀行

〒107-8480東京都港区赤坂1-6-16

0120-330-655

(平日9:00~21:00 土日祝9:00~17:00 年末・年始を除く)

[引受保険会社]

 **アクサ フィナンシャル生命保険株式会社**

〒160-8335 新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト10F

TEL 03-6911-9100 FAX 03-6911-9260

<http://www.axa-financial.co.jp>

AFL-2008-263-20080421(0421)/FR